

# CASBEE® 広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フローレンス緑井	階数	地上15F
建設地	広島市安佐南区緑井七丁目 1586	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第二種中高層住居	平均居住人員	420 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2018年12月14日
敷地面積	4,123 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,247 m <sup>2</sup>	確認日	2018年12月14日
延床面積	9,467 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 71% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 71% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 71% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 2

LR1 エネルギー: 4

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.6)

音環境	2.2
温熱環境	4.4
光・視環境	3.2
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.1)

機能性	1.4
耐用性	2.6
対応性	2.4

#### Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.0)

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.1)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備ンステ	4.8
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.6)

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

地球温暖化	4.1
地域環境	2.3
周辺環境	3.1

### 3 広島市の重点項目

**重点項目の総平均スコア = 3.0**

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 1.7	スコア = 2.1
<b>設計の計画し特段に配慮した事項</b> 住宅性能評価断熱等級4を確保 // LED照明器具の採用 // / 可能な限りCO <sub>2</sub> の排出を削減。	<b>設計の計画し特段に配慮した事項</b> / / /	<b>設計の計画し特段に配慮した事項</b> 排気ダクトにスパイラルダクトを採用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される